

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速実験炉原子炉施設の設置変更許可申請に係る事業者とのヒアリング（５５）
2. 日時：令和２年１２月１８日（金）１０：００～１２：００
3. 場所：原子力規制庁１３階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
小舞管理官補佐、有吉上席安全審査官、片野安全審査官、佐々木技術
参与、山田係員
技術基盤グループ システム安全研究部門
石津主任技術研究調査官、山本技術研究調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所 高速実験炉部 部長 他１１名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、設置許可基準規則第５３条（多量の放射性物質等を放出する事故の拡大の防止）の格納容器破損防止措置に係る有効性評価で用いたSAS4Aコード、AUTODYNコード及びPLUGコードについて説明資料の提示を受け、このうちSAS4Aコードについて資料に基づき説明を受けた。

○原子力規制庁から、以下の点を伝えた。

- (1) SAS4Aコードはナトリウム冷却高速炉の炉心損傷の初期段階(起因過程)において発生する様々な現象を解析するための計算コードであるが、起因過程で重要な物理現象を解析するための計算モデルを計算コードにおいて、どのように取り扱っているかについて、今後確認していく。
- (2) AUTODYNコードとPLUGコードについては今回提示を受けた資料の確認を行った上で、別途ヒアリングを設け内容を確認していく。

○原子力機構から、承知した旨の返答があった。

6. 提出資料

資料1 : SAS4Aのモデル及び妥当性確認について

資料2 : AUTODYNのモデル概要及び妥当性確認について

資料3 : PLUGのモデルについて

資料4 : PLUGの妥当性確認について